

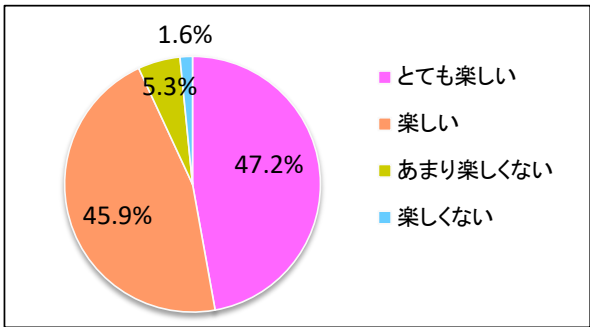
令和5年度後期 児童アンケート(学校生活アンケート)の結果

白井市立南山小学校

○ アンケート実施 令和6年1月29日～2月5日

1 学校は楽しいですか。

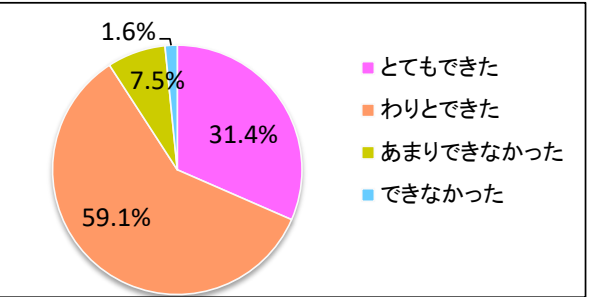
	%
とても楽しい	47.2%
楽しい	45.9%
あまり楽しくない	5.3%
楽しくない	1.6%



児童の約93%が、学校が楽しいと感じています。前期に続き、後期には運動会等の大きな学校行事があったり、たてわり活動の充実化を図ったりしたことで、他者との交流がさらに増え、そこから得られる楽しさを実感できたことも要因だと捉えています。一方、前期より割合は減ったものの、否定的に捉えている児童がいることについては、真摯に捉え、引き続きご家庭や関係機関とも連携を図ってまいります。さらに、次年度に向けて、児童全員が希望を持って登校し、満足して下校することができるような教育活動の推進を目指してまいります。

2 学年・学級目標(もくひょう)を意識して生活できましたか。

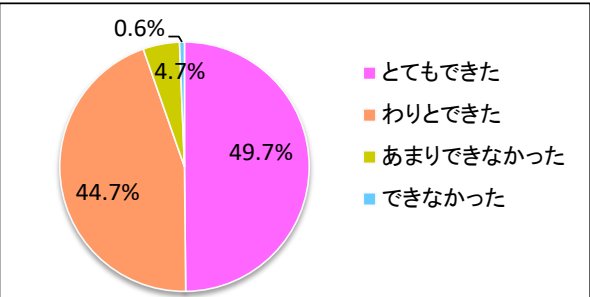
	%
とてもできた	31.4%
わりとできた	59.1%
あまりできなかった	7.5%
できなかった	1.6%



児童の約90%が各目標を意識して生活していると感じています。各委員会による活動の中で、放送による周知や日々の呼びかけを行ったり、掲示物を作成したりと、児童が活動を通して、「自分たちで学校を良くしていこう」という高い意識の表れが、この結果につながったと考えております。今後も、児童のより良い学校生活を送りたいという主体性を育てていきたいと思っております。

3 進んで授業に取り組むことができましたか。

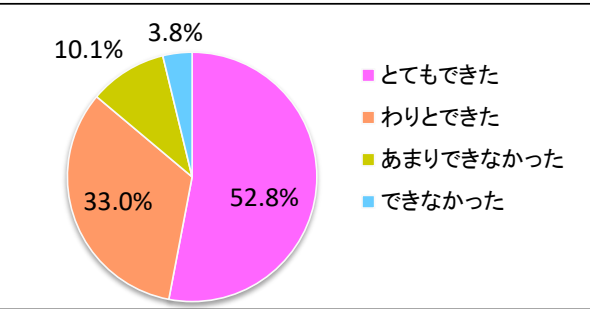
	%
とてもできた	49.7%
わりとできた	44.7%
あまりできなかった	4.7%
できなかった	0.6%



児童の約95%が進んで授業に取り組んでいると感じています。授業のスタイルも、ペアワークやグループワーク等の学習隊形の工夫したり、ICT機器の活用や話し合い活動、問題解決学習等を取り入れたりすることで、児童は、主体的に、協働して学ぶことの楽しさを感じていると捉えています。しかし、「あまりできなかった」「できなかった」と回答した児童も前期より減っているが存在しています。引き続き、全体が授業に落ち着いて取り組めるように、授業中の学級や児童の様子を全職員で共有し、支援してまいります。

4 進んで運動できましたか。(外遊びも入ります)

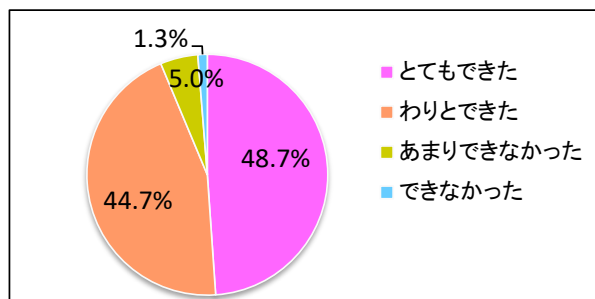
	%
とてもできた	52.8%
わりとできた	33.0%
あまりできなかった	10.1%
できなかった	3.8%



約85%以上の児童が肯定的な回答をしており、前期の調査より10%上昇しました。これは、体育の授業や体育的行事について、運動が苦手と感じている児童であっても、楽しく意欲的に参加できるように、内容や方法を工夫したことと、児童が各自目標を設定し、それを意識して活動したことが主な要因だと考えております。次年度も、内容や方法を精選して教育活動を行ってまいります。

5 思いやりの気持ちをもって、人に接することができましたか。

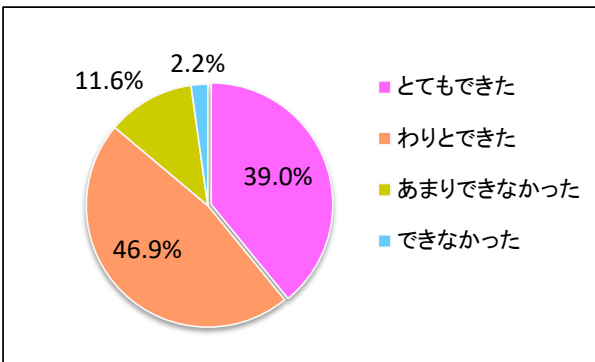
	%
とてもできた	48.7%
わりとできた	44.7%
あまりできなかった	5.0%
できなかった	1.3%



肯定的な回答が約93%となっております。児童は、たてわり活動による異年齢の関わりや、行事に向けた学年・学級ごとの活動等、様々な場面で、人との関わり方を学んでいます。その経験が、日常の実践につながっているのは、児童の成長の証です。しかし、少数ではありますが、否定的な回答をしている児童もいますので、日常生活で注意深く見守り、ご家庭の協力を得ながら、粘り強く指導をしていきます。

6 三つ星あいさつができましたか。

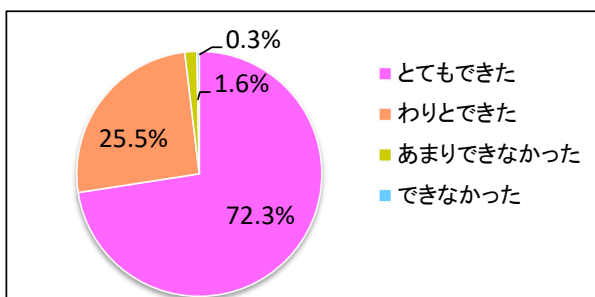
	%
とてもできた	39.0%
わりとできた	46.9%
あまりできなかった	11.6%
できなかった	2.2%



約86%の児童が肯定的な回答をしています。「立ち止まって」「相手の名前を呼んで」を加えた五つ星あいさつを継続して行う児童もおります。しかし、校内の様子から、教師に対してのあいさつはしっかりできていても、友達同士や、保護者や地域の方々等の来校者へのあいさつは、十分とは言えません。学校、各学級でも、「あいさつは、なぜするのか」を、問いかけ、主体性を持って行動できるように継続して指導していきます。

7 くつのかかとをそろえていますか。

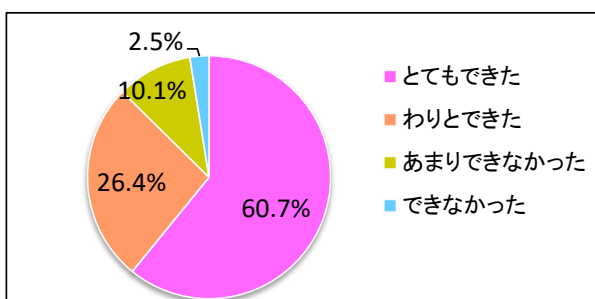
	%
とてもできた	72.3%
わりとできた	25.5%
あまりできなかった	1.6%
できなかった	0.3%



約98%と高い割合の児童が肯定的な回答です。今年度は、継続して上級生が手本を示すとともに、委員会でも積極的に活動していくことで、多くの児童が習慣化していることがうかがえます。これは、南山小学校の自慢の一つとして、今後も子供が自発的に出来ることを評価し、自己肯定感につながるように支援していきます。

8 家で勉強できましたか。

	%
とてもできた	60.7%
わりとできた	26.4%
あまりできなかった	10.1%
できなかった	2.5%



児童の約87%が肯定的な回答です。発達段階に応じて、家庭学習の課題を提示したり、十分でない学習を補ったりすることができるよう支援していきます。また、今後も継続して、自分の興味・関心に合わせて調べたり、考えたり深めたりする「自学」を推奨することで、学ぶ楽しさを感じることができるよう指導していきます。